

## 期限表示活用で減らそう食品ロス

新潟市消費者協会

食品の期限表示と食品ロスの関係を探り、期限表示を正しく知って活用することで、食品ロスを減らそうと、市民対象のアンケート調査を行いました。

回答者 477 人（男性94人、女性383人）

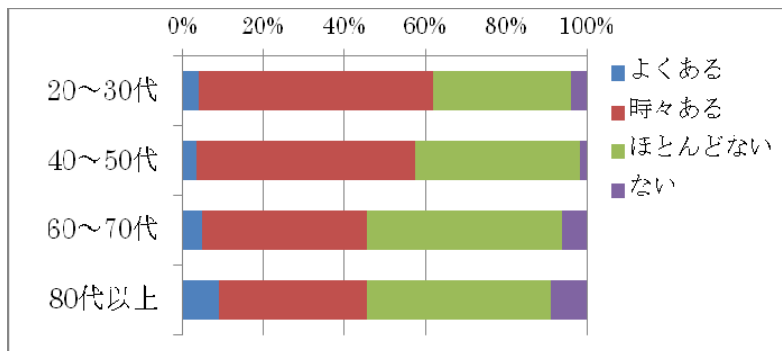
### アンケート結果のまとめと提言

- 1、期限表示について、消費期限と賞味期限の違いについて知らない人も一定数いることから、正しい知識についての啓発が必要。
- 2、期限表示は購入時には活用されているが、保管・保存時には活用されていないことから、期限切れにしない方法や期限切れ食品への対応を生活の知恵として伝えることが必要。
- 3、個人や家庭、販売店などの事業者、行政がそれぞれに期限表示を活用して食品ロスを減らす対策を講じることが必要。
- 4、消費者と企業は協働して、食品ロス削減に取り組むことが望まれる。

#### ■主な質問と回答・考察

Q 食品を捨てたことがありますか。

「よくある」「時々ある」が約半数  
「ほとんどない」を合わせて  
捨てたことがあるは 95%

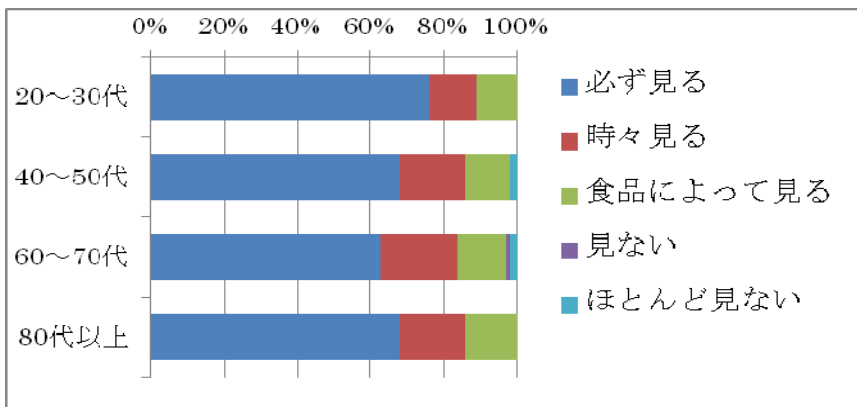


Q 期限表示に消費期限・賞味期限があることを知っていますか。「知っている」が9割以上

Q 消費期限と賞味期限の違いを知っていますか。

「知っている」8割弱 「なんとなく知っているがはっきりと知らない」2割

Q 食品を購入する時、消費期限・賞味期限を見ますか。



9割以上が見ると回答

(必ず見る、時々見る、食品によって見る。)

☆どの年代も購入時によく見ているが、「必ず見る」は、若い世代ほど多い。

◇消費期限・賞味期限の違いを知っているかどうかと、購入時に表示を見るかどうかの関係

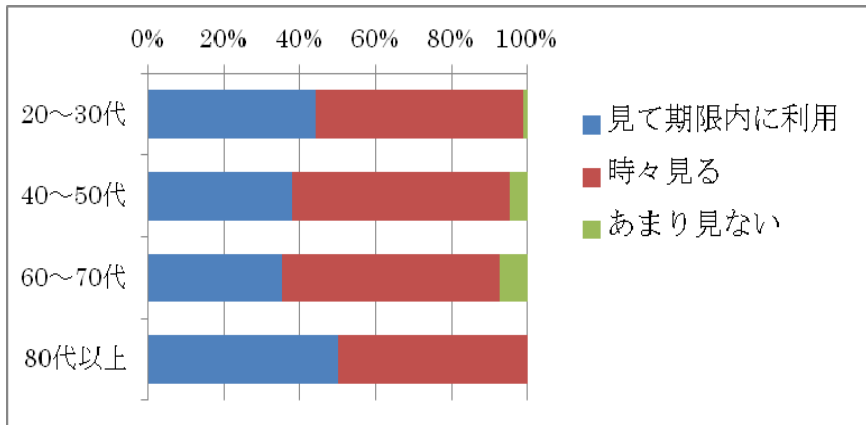
☆違いを知っているかどうかに関わらず、消費者は購入時に期限表示を見ている。

Q 購入する時は、期限が近い食品と先の食品があれば、どちらを選びますか。

食品購入時に期限表示を見る、の回答者へ

- ①賞味期限が短い食品（牛乳など） 期限が先の食品 8 割弱
  - ②賞味期限が長い食品（調味料など） 期限が先の食品 5 割強
  - ③消費期限表示食品（弁当、刺身など） ①と同じ傾向
- ☆若い世代の方が先の期限表示を選んでいる。

Q 購入した食品の保管・管理のために消費期限・賞味期限を活用していますか。



☆購入時には期限表示を活用して期限が先の商品を選ぶが、購入後は半数以上が活用していない。

◇購入時の期限表示活用と購入後の期限表示活用の関係

購入時に期限表示を『必ず・ときどき・生鮮食品は見るが、保存食品は見ない』いずれの回答者も、購入後は表示を見るが期限切れになることが多い。

☆消費者にとって、購入時と購入後の期限表示活用は別である。

Q よく期限切れになる食品（回答数の多い順）

- 1、大豆加工品（豆腐、納豆、油揚げ）
- 2、乳製品（牛乳、ヨーグルト、チーズ）
- 3、調味料
- 4、食肉加工品（ハム、ソーセージ）
- 乾物・乾麺類
- 5、缶詰・瓶詰類

Q 消費期限・賞味期限が切れた食品はどうしますか。

<男性は気にせず使う><女性は期限表示活用、自分で判断>

20~30代は気にせず使う割合が多く、40~70代は自分で判断して使うか捨てる割合が多い。

Q 食品ロスを減らすためにやっていることはありますか。（回答数の多い順）

- 1、必要量だけ買う
  - 2、冷凍庫を活用する
  - 3、期限切れでも自分で判断して使う
  - 4、期限内に食べる（男性 2 番目、女性 4 番目）
  - 5、食べ残さない
- ※早く食べるものは期限が近い商品を買う（男性 13%、女性 20%）

☆期限表示の活用は性別で異なる。

Q 食品ロスを減らすために、有効だと思うのはどれですか。（回答数の多い順）

- 1、もったいない意識の普及
- 2、期限表示の活用（女性>男性）
- 3、調理・保存方法の講座開催
- 4、定期的な情報発信